



## 歯をぶつけた時のマメ知識

No.38

歯や顔面、唇などをなんらかのものにぶつけて傷害を負う事を外傷といい、傷害をおった歯を外傷歯(がいしょうし)と言います。

外傷歯の原因には『交通事故』や『転んでぶつけた』『赤ちゃんに頭突きされた』『人と人がぶつかった』など様々なケースがあります。

### 外傷歯の損傷の程度

#### ①見た目はなんともない

見た目はなんともなくても、歯が強い衝撃を受けると後で歯の神経が死んでしまう場合があります。それも衝撃を受けた直後ではなく、期間が経ってから神経が死んでいることに気付く場合も多いですから厄介です。むし歯でない歯の歯ぐきが腫れたり、歯の色が変わった場合は神経の状態が心配されます。

#### ②歯にヒビが入った

小さいヒビでは症状はありませんが、大きなヒビになると少ししみる事もあります。

#### ③歯が欠けた(折れた)

欠けかたの程度によってその症状も変わります。欠けた場所が歯の先端であれば問題も少ないですが、深い所(歯の根)で折れた場合は歯を失う事もあります。

#### ④歯が抜けた

歯が折れたりしないで、完全に抜けてしまう場合があります。それを歯牙脱臼(しがだつきゅう)と言います。この場合には適切に保存し、抜けたところに戻すことによって骨にくっつくことがあります。

#### ⑤歯がめり込んだ

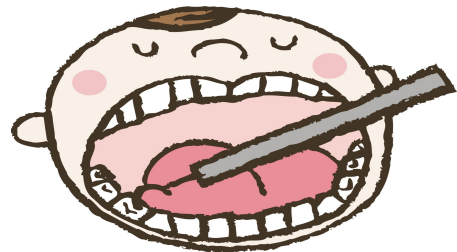
力のかかり方やその方向によっては、歯が骨にめり込んでしまうことがあります。

#### ⑥その他

衝撃が強ければ顎の骨や顔面の骨などが骨折している事もあります。また、下の顎を強くぶつけた場合、顎が後に押されて顎の関節に大きな力がかかり、そこに傷害を生じる場合があります。

### 外傷歯の治療

- (1) 状況が軽度な場合には必要な検査(レントゲンなど)のうえ、経過を観察することになります。
- (2) 歯が欠けた場合には、詰めたりかぶせたりして形を修復することになります。
- (3) 痛みがあったり、歯の神経が露出した場合には神経をとる治療が必要となります。
- (4) ただ単に歯が抜けた場合には条件が良ければ抜けたところに戻すことによって歯がまたくっつくことがあります。
- (5) 根の所で折れた場合、条件が良ければ折れた所から差し歯をすることが出来、抜かずに残すことが可能です。



### 歯が抜けた時の対処法

歯が完全に抜けた時は、保存液(コンタクトレンズの保存液・生理食塩水)なければ牛乳につけたり口の中に入れてそのまま急いで病院に行きましょう。抜けた歯の根をいじったり、乾燥させないように気をつけます。急いで抜けたところに戻せば、再びくっつく事もあります。(2時間以内が理想)



社団法人

## 柏歯科医師会

Http://www.kamukamu.or.jp

Email:kda@cc.rim.or.jp

